

**令和4年度
在宅医療県民意識調査
実施報告書**

令和5年2月
一般社団法人 長野県医師会

アンケート調査の概要

▶ 調査実施

▶ 調査実施日

- ▶ 令和5年(2023年) 2月2日(木)～6日(月)

▶ 調査対象

- ▶ 長野県内在住30歳～60歳以上

▶ 実施方法

▶ ネットアンケート

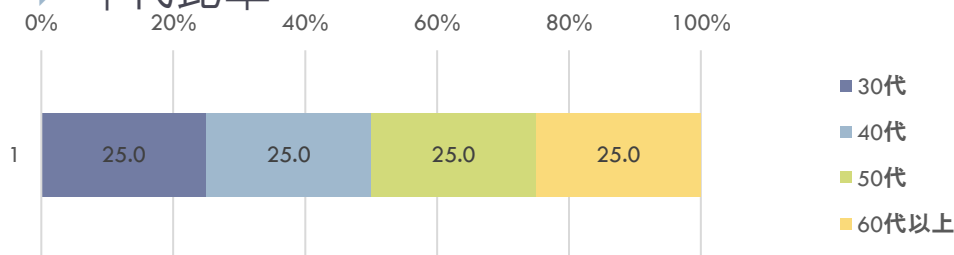
- ▶ 楽天リサーチのシステム利用

▶ 回答者数

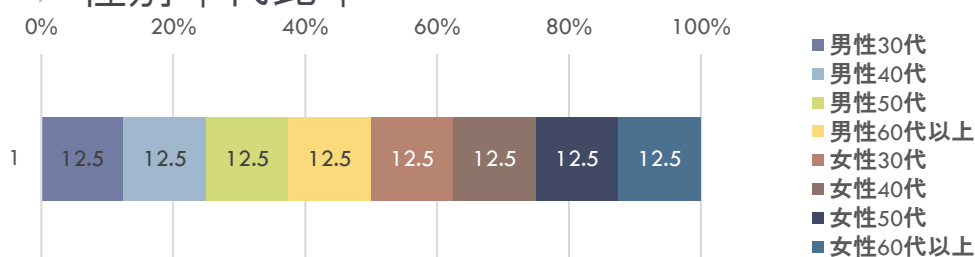
- ▶ 長野県内在住者 1,000人

▶ 基礎データ

▶ 年代比率



▶ 性別年代比率



※年代比率および性別年代比率について、70代、80代のネット利用者が少ないことから、調査客体を確保するため、60代以上として調査を実施。

アンケート実施画面1

テーマ「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）について」

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称です。
アドバンス・ケア・プランニングとは、これからの人生や生活において、あなたの大切にしていることや希望、どのような医療やケアを望んでいるかについて自ら考え、あなたの信頼する人たちと繰り返し話し合うことを言います。

01 必須 あなたは「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉をご存じですか。

1. 知っている
2. 知らない

次へ

改ページ

02 必須 あなたは11月30日が「いい看取り・看取られ」の「人生会議の日」であることをご存じですか。

1. 知っている
2. 知らない

次へ

改ページ

03 必須 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、最初にあなた自身がこれからの人生や生活をどのように考えているかが大切になります。
あなたは、ご自身のこれからの生活や住まい、医療・ケア（延命治療を実施するかしないか等）について考えていますか。

1. 考えている
2. 考えていない

次へ

改ページ

04 必須 あなたは、ご自身の体調が悪い時や困った時に何でも相談できるかかりつけ医を持っていますか。

1. 持っている
2. 持っていない

次へ

アンケート実施画面2

■人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医等に相談して、正確な情報を知ることが大切になります。

Q4で「かかりつけ医を持っている」と答えた人に対する設問

05-1 必須 あなたは、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けていますか。

- 1. 説明を受けている
- 2. 説明を受けていない

Q4で「かかりつけ医を持っている」と答えた人に対する設問

05-2 必須 あなたは、ご自身の健康や病状が末期ガンや治らない病気である場合も、これからの人生や生活を考えるにあたり、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けたいと思いますか。

- 1. 説明を受けたい
- 2. 説明を受けたくない

次へ

改ページ

06 必須 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をしてくれる代理人を選ぶことが大切になります。あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。

- 1. 代理人を決めている
- 2. 代理人を決めていない

次へ

改ページ

07 必須 人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人（ご家族や親族など）と話し合い（人生会議）をしていますか。

- 1. している
- 2. していない

次へ

改ページ

アンケート実施画面3

Q7で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q7-1 必 須 どなたと話し合いをされていますか。
(いくつでも)

- 1. ご家族
- 2. 親族
- 3. ご友人
- 4. かかりつけ医
- 5. かかりつけ医以外の医療介護職
- 6. その他

次へ

改ページ

Q7で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q7-2 必 須 どのようなことを話し合われていますか。
(いくつでも)

- 1. 延命治療（人工呼吸器設置や胃ろうの増設）を実施するかどうか
- 2. 在宅での急変時に救急要請を行うかどうか
- 3. 在宅でかかりつけ医による看取りを希望するかどうか
- 4. 介護・ケアを誰にお願いするか
- 5. その他

次へ

改ページ

Q7で「話し合いをしている」と答えた人への設問

Q7-3 必 須 人生会議で話し合ったことを書面に残したものを「リビングウイル（事前指示書）」といいます。
話し合った内容を書面に残していますか。

- 1. 残している
- 2. 残していない

次へ

改ページ

アンケート実施画面4

Q7で「話し合っていない」と答えた人への設問

Q7-4 話し合いをされていない理由は何ですか。
必須 (いくつでも)

- 1. 関心がない、話し合う必要がない
- 2. まだ話し合う時期ではない (健康である、年齢が若いなど)
- 3. 話し合いをしたいが、話をする人がいない
- 4. その他

次へ

改ページ

Q8 あなたは、人生会議で話し合ったことを書面に残しておく「リビングウイル (事前指示書)」の存在をご存じですか。
必須

- 1. 知っている
- 2. 知らない

次へ

改ページ

Q9 あなたは人生会議や「リビングウイル (事前指示書)」について関心がありますか。
必須

- 1. 関心がある
- 2. 関心がない

次へ

改ページ

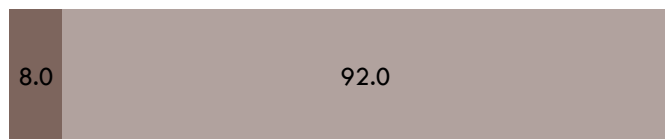
アンケート結果および考察

テーマ「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)について」

「人生会議」とは、アドバンス・ケア・プランニングの愛称です。アドバンス・ケア・プランニングとは、これからの人生や生活において、あなたの大切にしていることや希望、どのような医療やケアを望んでいるかについて自ら考え、あなたの信頼する人たちと繰り返し話し合うことを言います。

▶ Q1.あなたは「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」という言葉をご存じですか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 知っている ■ 知らない

		n	知っている	知らない
全体		1000	80	920
		100.0	8.0	92.0
性別	男性	500	40	460
		100.0	8.0	92.0
性別	女性	500	40	460
		100.0	8.0	92.0
年代	30代	250	33	217
		100.0	13.2	86.8
	40代	250	22	228
		100.0	8.8	91.2
年代	50代	250	11	239
		100.0	4.4	95.6
年代	60代以上	250	14	236
		100.0	5.6	94.4
性年代	男性 30代	125	21	104
		100.0	16.8	83.2
	男性 40代	125	8	117
		100.0	6.4	93.6
	男性 50代	125	7	118
		100.0	5.6	94.4
	男性 60代以上	125	4	121
		100.0	3.2	96.8
性年代	女性 30代	125	12	113
		100.0	9.6	90.4
	女性 40代	125	14	111
		100.0	11.2	88.8
性年代	女性 50代	125	4	121
		100.0	3.2	96.8
性年代	女性 60代以上	125	10	115
		100.0	8.0	92.0

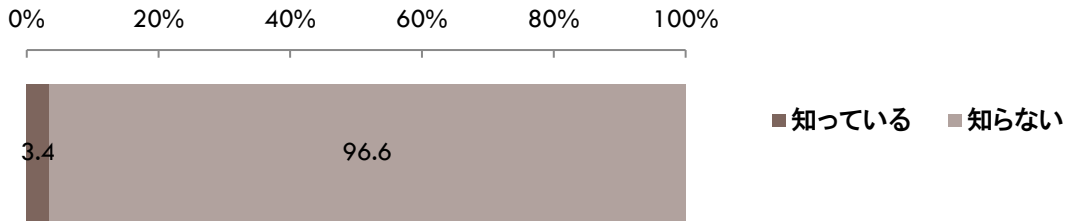
【考察】

同様設問を継続実施。
「知っている」は、...
平成30年度 66人
令和1年度 133人
令和2年度 88人
令和3年度 80人
令和4年度 80人
この数字の推移を見る限り、「人生会議」についての認知度は横ばい状態である。
広報PR面の不足を感じるデータである。

■クロス集計表の色分けについて

■は全体+10%以上、■は+5%以上、■は-10%以下、■は-5%以下

▶ Q2.あなたは11月30日が「いい看取り・看取られ」の「人生会議の日」であることをご存じですか。

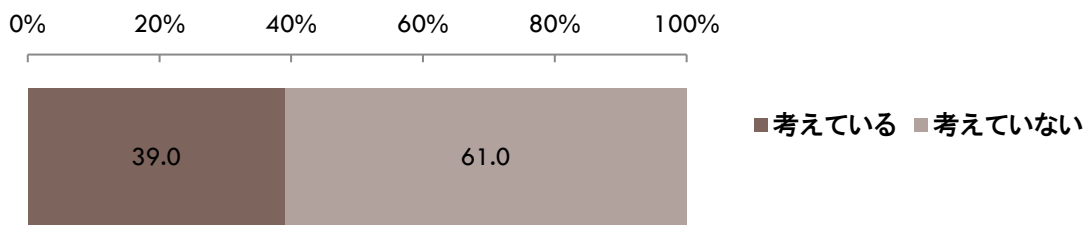


		n	知っている	知らない
全体		1000 100.0	34 3.4	966 96.6
性別	男性	500 100.0	19 3.8	481 96.2
	女性	500 100.0	15 3.0	485 97.0
年代	30代	250 100.0	16 6.4	234 93.6
	40代	250 100.0	8 3.2	242 96.8
	50代	250 100.0	5 2.0	245 98.0
	60代以上	250 100.0	5 2.0	245 98.0
性年代	男性 30代	125 100.0	10 8.0	115 92.0
	男性 40代	125 100.0	5 4.0	120 96.0
	男性 50代	125 100.0	3 2.4	122 97.6
	男性 60代以上	125 100.0	1 0.8	124 99.2
	女性 30代	125 100.0	6 4.8	119 95.2
	女性 40代	125 100.0	3 2.4	122 97.6
	女性 50代	125 100.0	2 1.6	123 98.4
	女性 60代以上	125 100.0	4 3.2	121 96.8

【考察】

「人生会議の日」の認知度は、全体の3.4%と非常に低い。前年度が4.1%で、さらに低下している。広報PRもほとんどされていないことから、一般の方に認知されていないのであろう。逆に、知っている3.4%は、医療関係者ではないかと推測できる。

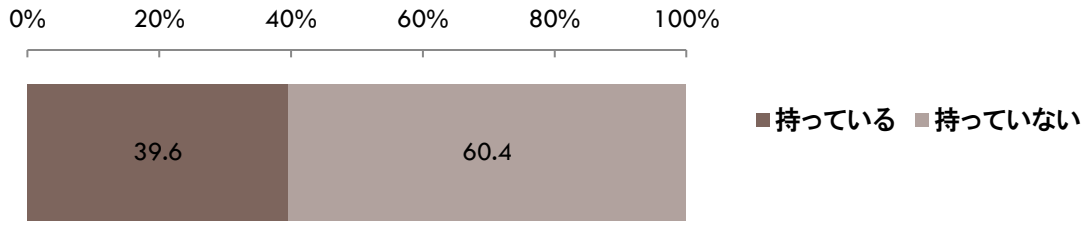
▶ Q3.人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)では、最初にあなた自身がこれからの人生や生活をどのように考えているかが大切になります。あなたは、ご自身のこれからの生活や住まい、医療・ケア(延命治療を実施するかしないか等)について考えていますか。



		n	考 え て い る	考 え て い な い
全体		1000 100.0	390 39.0	610 61.0
性別	男性	500 100.0	163 32.6	337 67.4
	女性	500 100.0	227 45.4	273 54.6
年代	30代	250 100.0	77 30.8	173 69.2
	40代	250 100.0	83 33.2	167 66.8
	50代	250 100.0	100 40.0	150 60.0
	60代以上	250 100.0	130 52.0	120 48.0
性年代	男性 30代	125 100.0	38 30.4	87 69.6
	男性 40代	125 100.0	36 28.8	89 71.2
	男性 50代	125 100.0	37 29.6	88 70.4
	男性 60代以上	125 100.0	52 41.6	73 58.4
	女性 30代	125 100.0	39 31.2	86 68.8
	女性 40代	125 100.0	47 37.6	78 62.4
	女性 50代	125 100.0	63 50.4	62 49.6
	女性 60代以上	125 100.0	78 62.4	47 37.6

【考 察】
 前年度の調査と比べ、「考えている」との回答が26人増えた。
 年代別に見ると最も「考えている」のが男女ともに60代以上。最も「考えていない」のが男性40代、女性30代。特徴的なのは、女性50代の数値である。女性は男性に比べ、若い40代頃より、将来のことに関心を寄せている傾向が読み取れる。

▶ Q4.あなたは、ご自身の体調が悪い時や困った時に何でも相談できるかかりつけ医を持っていますか。



		n	持っている	持っていない
全体		1000 100.0	396 39.6	604 60.4
性別	男性	500 100.0	199 39.8	301 60.2
	女性	500 100.0	197 39.4	303 60.6
年代	30代	250 100.0	65 26.0	185 74.0
	40代	250 100.0	82 32.8	168 67.2
	50代	250 100.0	106 42.4	144 57.6
	60代以上	250 100.0	143 57.2	107 42.8
性年代	男性 30代	125 100.0	29 23.2	96 76.8
	男性 40代	125 100.0	38 30.4	87 69.6
	男性 50代	125 100.0	54 43.2	71 56.8
	男性 60代以上	125 100.0	78 62.4	47 37.6
	女性 30代	125 100.0	36 28.8	89 71.2
	女性 40代	125 100.0	44 35.2	81 64.8
	女性 50代	125 100.0	52 41.6	73 58.4
	女性 60代以上	125 100.0	65 52.0	60 48.0

【考察】

「持っている」という回答者の推移は、令和2年度402人、令和3年度368人、令和4年度396人。ずっと近似値であり有意な差は認められない。

年代別に見ると、男女ともに年代が上がるにつれて、かかりつけ医を「持っている」。男女ともに50代から40%を越え、男性60代以上は62.4%、女性60代以上は52%がかかりつけ医を「持っている」のが現状である。

Q4で「かかりつけ医を持っている」と答えた396人に対する設問

■人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)では、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医等に相談して、正確な情報を知ることが大切になります。

▶ Q5-1.あなたは、ご自身の健康や病状について、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 説明を受けている

■ 説明を受けていない

		n	説明を受けている	説明を受けていない
全体		396	295	101
		100.0	74.5	25.5
性別	男性	199	153	46
		100.0	76.9	23.1
性別	女性	197	142	55
		100.0	72.1	27.9
年代	30代	65	45	20
		100.0	69.2	30.8
	40代	82	54	28
		100.0	65.9	34.1
年代	50代	106	79	27
		100.0	74.5	25.5
	60代以上	143	117	26
		100.0	81.8	18.2
性年代	男性 30代	29	19	10
		100.0	65.5	34.5
	男性 40代	38	27	11
		100.0	71.1	28.9
	男性 50代	54	43	11
		100.0	79.6	20.4
	男性 60代以上	78	64	14
		100.0	82.1	17.9
性年代	女性 30代	36	26	10
		100.0	72.2	27.8
	女性 40代	44	27	17
		100.0	61.4	38.6
性年代	女性 50代	52	36	16
		100.0	69.2	30.8
性年代	女性 60代以上	65	53	12
		100.0	81.5	18.5

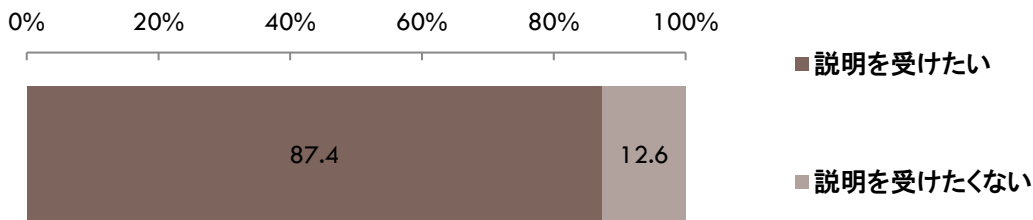
【考察】

かかりつけ医を持っている396人が対象。「説明を受けている」人が74.5%と昨年度より1.9%増えている。

年代別では年齢が上がるにつれて、「説明を受けている」比率も増え、相関関係が認められる。60代以上は男性82.1% (73.7%)、女性81.5% (77.6%)とともに80%を越えており、これは()内の前年度数値よりも、上昇しており、かかりつけ医との良好な関係性がみとれる。

Q4で「かかりつけ医を持っている」と答えた396人に対する設問

- ▶ Q5-2.あなたは、ご自身の健康や病状が末期ガンや治らない病気である場合も、これからの人生や生活を考えるにあたり、かかりつけ医から正確な情報として説明を受けたいと思いますか。



		n	説明を受けたい	説明を受けたくない	
全体		396	346	50	
		100.0	87.4	12.6	
性別	男性	199	169	30	
		100.0	84.9	15.1	
性別	女性	197	177	20	
		100.0	89.8	10.2	
年代	30代	65	53	12	
		100.0	81.5	18.5	
	40代	82	70	12	
		100.0	85.4	14.6	
年代	50代	106	92	14	
		100.0	86.8	13.2	
年代	60代以上	143	131	12	
		100.0	91.6	8.4	
	性年代	男性 30代	29	21	8
			100.0	72.4	27.6
男性 40代		38	31	7	
		100.0	81.6	18.4	
男性 50代		54	47	7	
		100.0	87.0	13.0	
男性 60代以上		78	70	8	
		100.0	89.7	10.3	
性年代	女性 30代	36	32	4	
		100.0	88.9	11.1	
	女性 40代	44	39	5	
		100.0	88.6	11.4	
	女性 50代	52	45	7	
		100.0	86.5	13.5	
	女性 60代以上	65	61	4	
		100.0	93.8	6.2	

【考察】

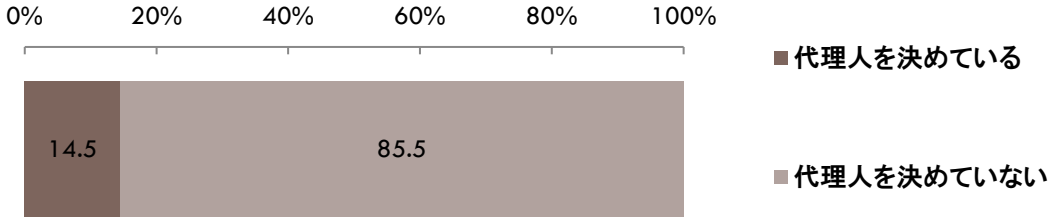
昨年度の調査と比べ、「説明を受けたい」が0.7%アップの87.4%。一昨年度と比べて1.3%アップである。

世代別では、60代以上の「説明を受けたい」が91.6%と高いが、最も低い30代の比率も81.5%と平均的に高く、医師との良好な関係性への期待が大きいと推察できる。

逆に、「説明を受けたくない」の比率1位が男性30代の27.6%。これは病気などに対する不安が差し迫っていないからと推測できる。

▶ Q6.人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)では、あなたが意思表示出来なくなった場合に備えて、あなたに代わり意思表示をしてくれる代理人を選ぶことが大切になります。

あなたは、ご自身が意思表示出来なくなった場合に備えて、代理人を決めていますか。



		n	代理人を決めている	代理人を決めていない
全体		1000 100.0	145 14.5	855 85.5
性別	男性	500 100.0	60 12.0	440 88.0
	女性	500 100.0	85 17.0	415 83.0
年代	30代	250 100.0	26 10.4	224 89.6
	40代	250 100.0	27 10.8	223 89.2
	50代	250 100.0	42 16.8	208 83.2
	60代以上	250 100.0	50 20.0	200 80.0
性年代	男性 30代	125 100.0	12 9.6	113 90.4
	男性 40代	125 100.0	11 8.8	114 91.2
	男性 50代	125 100.0	13 10.4	112 89.6
	男性 60代以上	125 100.0	24 19.2	101 80.8
	女性 30代	125 100.0	14 11.2	111 88.8
	女性 40代	125 100.0	16 12.8	109 87.2
	女性 50代	125 100.0	29 23.2	96 76.8
	女性 60代以上	125 100.0	26 20.8	99 79.2

【考察】

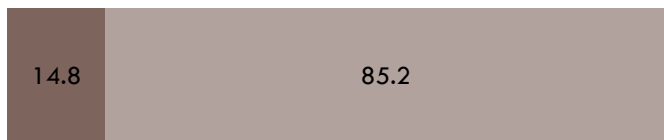
全体では「代理人を決めている」は昨年度より1%ダウンの14.5%と少数派である。

年代別では、60代以上が最も多く、20%である。男女差では、女性が50代から20%を越えるのに比べ、男性は最も多い60代でも19.2%と2割に満たない。総じて、女性のほうが「代理人」に対する必要性の認識が高いと推察できる。

▶ Q7.人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)では、あなたの希望や思いについて、ご家族やご友人だけでなく、医療ケアチームとも繰り返し話し合うことが大切になります。

あなたは、ご自身が望む医療・ケアについて、あなたの信頼する人(ご家族や親族など)と話し合い(人生会議)をしていますか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ している ■ していない

		n	している	していない
全体		1000 100.0	148 14.8	852 85.2
性別	男性	500 100.0	61 12.2	439 87.8
	女性	500 100.0	87 17.4	413 82.6
年代	30代	250 100.0	36 14.4	214 85.6
	40代	250 100.0	20 8.0	230 92.0
	50代	250 100.0	37 14.8	213 85.2
	60代以上	250 100.0	55 22.0	195 78.0
性年代	男性 30代	125 100.0	16 12.8	109 87.2
	男性 40代	125 100.0	10 8.0	115 92.0
	男性 50代	125 100.0	12 9.6	113 90.4
	男性 60代以上	125 100.0	23 18.4	102 81.6
	女性 30代	125 100.0	20 16.0	105 84.0
	女性 40代	125 100.0	10 8.0	115 92.0
	女性 50代	125 100.0	25 20.0	100 80.0
	女性 60代以上	125 100.0	32 25.6	93 74.4

【考 察】

人生会議をしているという回答者の経年変化を見ると...

令和1年度 17.4%

令和2年度 18.1%

令和3年度 16.1%

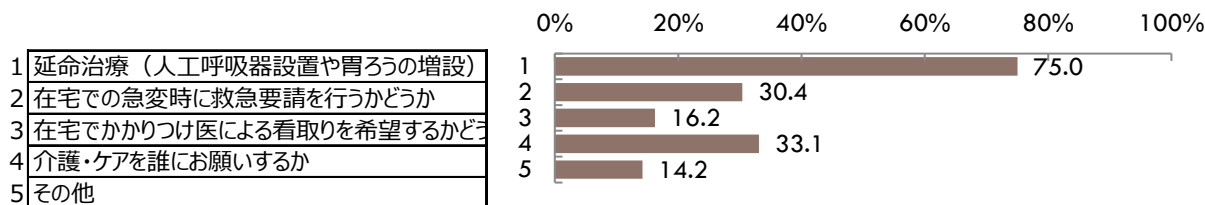
令和4年度 14.8%

この4年間で際立って大きな変化は見られない。

年代別では60代以上「している」が一番多いのも例年同様である。性別年代を見ると、男女ともに40代の「している」比率が最も少ない。30代が多いのは、人生会議を必要とする高齢者の対話相手となる子供世代だからである。

Q7で「話し合いをしている」と答えた148人への設問

▶ Q7-2.どのようなことを話し合われていますか。(いくつでも)



		n	延命治療 （人工呼吸器 設置や胃ろう 増設）	在宅での急 変時に救急 要請を行う かどうか	在宅でかか りつけ医に 看取りを希 望するに よるか	介護・ケア を誰に願 うか	その他
全体		148	111	45	24	49	21
		100.0	75.0	30.4	16.2	33.1	14.2
性別	男性	61	41	26	11	17	10
		100.0	67.2	42.6	18.0	27.9	16.4
女性	87	70	19	13	32	11	
	100.0	80.5	21.8	14.9	36.8	12.6	
年代	30代	36	25	5	7	7	6
		100.0	69.4	13.9	19.4	19.4	16.7
	40代	20	16	10	1	8	1
		100.0	80.0	50.0	5.0	40.0	5.0
50代	37	29	4	2	10	6	
	100.0	78.4	10.8	5.4	27.0	16.2	
60代以上	55	41	26	14	24	8	
	100.0	74.5	47.3	25.5	43.6	14.5	
性年代	男性 30代	16	10	5	2	1	2
		100.0	62.5	31.3	12.5	6.3	12.5
	男性 40代	10	8	6	0	3	1
		100.0	80.0	60.0	0.0	30.0	10.0
	男性 50代	12	8	2	2	4	3
		100.0	66.7	16.7	16.7	33.3	25.0
	男性 60代以上	23	15	13	7	9	4
		100.0	65.2	56.5	30.4	39.1	17.4
女性 30代	20	15	0	5	6	4	
	100.0	75.0	0.0	25.0	30.0	20.0	
女性 40代	10	8	4	1	5	0	
	100.0	80.0	40.0	10.0	50.0	0.0	
女性 50代	25	21	2	0	6	3	
	100.0	84.0	8.0	0.0	24.0	12.0	
女性 60代以上	32	26	13	7	15	4	
	100.0	81.3	40.6	21.9	46.9	12.5	

【考察】

話し合いの内容としては、「延命治療」についてが最も多く75%。次いで「介護ケアを誰にお願いするか」33.1%、「救急要請」30.4%、「かかりつけ医の看取り希望」は16.2%である。男女別では、延命治療についてが女性40代50代60代と80%を越えており、関心の高さがうかがえる。また救急要請については60代男性56.5%、60代女性40.6%と逆に男性が高く約16%の意識差がある。

Q7で「話し合いをしている」と答えた148人への設問

▶ Q7-3.人生会議で話し合ったことを書面に残したものを「リビングウイール（事前指示書）」といいます。話し合った内容を書面に残していますか。



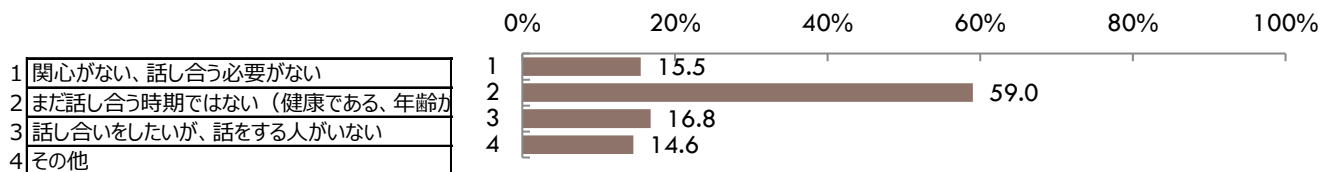
		n	残している	残していない
全体		148 100.0	23 15.5	125 84.5
性別	男性	61 100.0	9 14.8	52 85.2
	女性	87 100.0	14 16.1	73 83.9
年代	30代	36 100.0	9 25.0	27 75.0
	40代	20 100.0	3 15.0	17 85.0
	50代	37 100.0	4 10.8	33 89.2
	60代以上	55 100.0	7 12.7	48 87.3
性年代	男性 30代	16 100.0	6 37.5	10 62.5
	男性 40代	10 100.0	2 20.0	8 80.0
	男性 50代	12 100.0	1 8.3	11 91.7
	男性 60代以上	23 100.0	0 0.0	23 100.0
	女性 30代	20 100.0	3 15.0	17 85.0
	女性 40代	10 100.0	1 10.0	9 90.0
	女性 50代	25 100.0	3 12.0	22 88.0
	女性 60代以上	32 100.0	7 21.9	25 78.1

【考察】

話し合いをしている回答者のうち、書面として「残している」は15.5%。昨年の14.9%と顕著な差はない。アンケート総数との比率ではわずか2.3%が書面として残しているという結果であり、これも昨年と大差ない結果である。性別年代の数値を見ると、60代女性7人、次いで30代男性6人である。全体として事前指示書の認知および必要性は低いといえる。

Q7で「話し合いをしていない」と答えた852人への設問

▶ Q7-4.話し合いをされていない理由はなんですか。(いくつでも)



		n	必要がない、話し合う	年齢が若いなど	まだ話し合う時期ではない	話をする人がいないが、話し合いをしたい	その他
全体		852	132	503	143	124	
		100.0	15.5	59.0	16.8	14.6	
性別	男性	439	95	244	76	55	
		100.0	21.6	55.6	17.3	12.5	
性別	女性	413	37	259	67	69	
		100.0	9.0	62.7	16.2	16.7	
年代	30代	214	49	131	28	22	
		100.0	22.9	61.2	13.1	10.3	
	40代	230	35	144	39	30	
		100.0	15.2	62.6	17.0	13.0	
年代	50代	213	29	124	35	35	
		100.0	13.6	58.2	16.4	16.4	
	60代以上	195	19	104	41	37	
		100.0	9.7	53.3	21.0	19.0	
性年代	男性 30代	109	36	57	14	12	
		100.0	33.0	52.3	12.8	11.0	
	男性 40代	115	26	65	24	10	
		100.0	22.6	56.5	20.9	8.7	
	男性 50代	113	19	63	22	15	
		100.0	16.8	55.8	19.5	13.3	
	男性 60代以上	102	14	59	16	18	
		100.0	13.7	57.8	15.7	17.6	
性年代	女性 30代	105	13	74	14	10	
		100.0	12.4	70.5	13.3	9.5	
	女性 40代	115	9	79	15	20	
		100.0	7.8	68.7	13.0	17.4	
	女性 50代	100	10	61	13	20	
		100.0	10.0	61.0	13.0	20.0	
	女性 60代以上	93	5	45	25	19	
		100.0	5.4	48.4	26.9	20.4	

【考察】

「話し合いをしていない」理由として、最も多いのが「まだ話し合う時期ではない」との回答で59.0%。以下の「話をする人がいない」と「必要がない」はほぼ横並びであり、これは昨年度および一昨年度の調査と比べて、変化がほぼない。

男女別に見ると、「話し合う必要性」がないとの回答は、男性21.6%、女性9%と意識差がある。また「まだ話し合う時期ではない」との判断は、男性の場合、すべての年代で50数%であるが、女性の場合、30代女性70.5%と若い世代ほど比率が高く、60代女性48.4%とその差は21.1%である。また「話をする人がいない」は60代女性の26.9%が顕著に高い数値となっている。

▶ Q8.あなたは、人生会議で話し合ったことを書面に残しておく「リビングウイル(事前指示書)」の存在をご存じですか。

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 知っている ■ 知らない

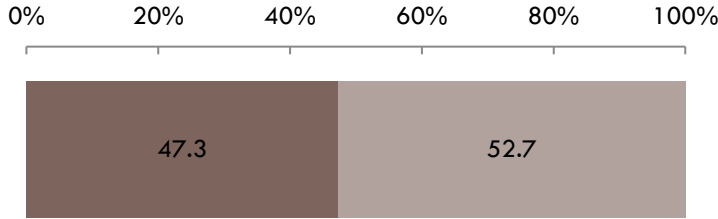
		n	知っている	知らない
全体		1000 100.0	161 16.1	839 83.9
性別	男性	500 100.0	57 11.4	443 88.6
	女性	500 100.0	104 20.8	396 79.2
年代	30代	250 100.0	40 16.0	210 84.0
	40代	250 100.0	35 14.0	215 86.0
	50代	250 100.0	35 14.0	215 86.0
	60代以上	250 100.0	51 20.4	199 79.6
性年代	男性 30代	125 100.0	22 17.6	103 82.4
	男性 40代	125 100.0	13 10.4	112 89.6
	男性 50代	125 100.0	10 8.0	115 92.0
	男性 60代以上	125 100.0	12 9.6	113 90.4
	女性 30代	125 100.0	18 14.4	107 85.6
	女性 40代	125 100.0	22 17.6	103 82.4
	女性 50代	125 100.0	25 20.0	100 80.0
	女性 60代以上	125 100.0	39 31.2	86 68.8

【考察】

リビングウイル(事前指示書)の認知度について、「知っている」が
 令和1年度24.9%
 令和2年度16.4%
 令和3年度13.5%
 令和4年度16.1%
 大きな変動は見られず
 横ばい状態である。

男女別では、60代女性の認知が際立って多く、39人である。この傾向は昨年も同様である。全体としては、女性20.8%、男性11.4%と女性のほうが約10%も認知度が高い。

▶ Q9.あなたは人生会議や「リビングウイル(事前指示書)」について関心がありますか。



■ 関心がある ■ 関心がない

		n	関心がある	関心がない
全体		1000 100.0	473 47.3	527 52.7
性別	男性	500 100.0	187 37.4	313 62.6
	女性	500 100.0	286 57.2	214 42.8
年代	30代	250 100.0	104 41.6	146 58.4
	40代	250 100.0	123 49.2	127 50.8
	50代	250 100.0	119 47.6	131 52.4
	60代以上	250 100.0	127 50.8	123 49.2
性年代	男性 30代	125 100.0	38 30.4	87 69.6
	男性 40代	125 100.0	47 37.6	78 62.4
	男性 50代	125 100.0	46 36.8	79 63.2
	男性 60代以上	125 100.0	56 44.8	69 55.2
	女性 30代	125 100.0	66 52.8	59 47.2
	女性 40代	125 100.0	76 60.8	49 39.2
	女性 50代	125 100.0	73 58.4	52 41.6
	女性 60代以上	125 100.0	71 56.8	54 43.2

【考察】

リビングウイルに対する関心について「あり」が令和2年度44.2%、令和3年度42.7%、令和4年度47.3%。有意な差はなく、約50%の関心度で推移している。男女年代別では、全年代の女性が50%を越えているのに比べ、男性は30代から50代まで30数%、60代でも44.8%にとどまっている。総じて女性の関心度の高さがうかがえる。

【総括】

本調査は、数年間にわたって在宅医療・人生会議に関する近似の設問を実施した。それらアンケート結果の全体を通して、女性層の認知・関心・理解が高いことが読み取れた。

ただ各年度による回答の推移については、多少の増減はあったものの顕著な差異が見られなかった。

ネットアンケートでは、ある程度のネットスキルを持った人々を対象としているため、街頭アンケート等よりも知識豊富な方が回答者となる。それでも「人生会議」に対する認知度や理解度がまだまだ十分ではないため、一般を対象とした広報PRの不足は否めない。今後はマスメディアやWEBメディアなど多種多様な機会をつくって、在宅医療および人生会議の必要性や重要性についてメッセージを伝えていくことが課題であると考えられる。